

帯 財 政 第 2 2 号

令和4年4月21日

部 長
各事務局長

市 長

令和4年度補正予算の編成について

社会経済情勢が加速的に変化する中、新型コロナウイルス感染症の拡大は、これからの社会経済システムのあり方を考える契機となった。

コロナ後の新たな未来を見据え、十勝・帯広が持続的に発展していくためには、この地が持つ豊かな自然、良質な水や食、ゆとりある空間などの資源を最大限に活かし、新たな価値を生み出していくことが重要である。

私は、これまで積み重ねてきた取り組みの上に、多くの人たちの共感を得ながら新たな種をまき、「フードバレーとかち」をニューステージに進めることで、この地の個性や存在感、将来への期待をより一層高めていきたいと考えている。

令和4年度6月補正予算の編成にあたっては、こうしたことを踏まえ、「すべての市民の幸せ」を基本に、公約の実現はもとより、状況の変化を的確に捉えながら、これまでの常識や固定観念にとらわれることなく、全庁連携し、十分に議論を深めた上で、予算を編成されたい。